



2012年1月23日

お知らせ

三井化学株式会社  
大阪石油化学株式会社

省エネ大賞の最高賞「経済産業大臣賞」を受賞

～地域連携による世界初の大規模なエチレンプラント省エネルギープロセス～

三井化学及びその100%子会社の大阪石油化学は、平成23年度省エネ大賞(主催:財団法人省エネルギーセンター、後援:経済産業省)の省エネ事例部門<sup>※1</sup>において、最高賞の「経済産業大臣賞」を受賞しました。

【表彰式】

日時 : 2012年2月1日(水) 10:15～11:00

場所 : 東京ビックサイト ENEX2012

出席者 : 三井化学 常務取締役 生産・技術本部長 竹本 元

大阪石油化学 代表取締役社長 鈴木 道隆

大阪ガス 取締役常務執行役員 ガス製造・発電事業部長 平野茂樹

【発表会】

日時 : 同日 13:00～(東京ビックサイト会場にて)

発表者 : 三井化学 大阪工場 管理部 山本 雅則

テーマ : エチレンプラントとLNG冷熱の融合による大規模省エネの実現

両社は大阪ガス株式会社と共同で、世界で初めての大規模なLNG冷熱<sup>※2</sup>を利用したエチレンプラント省エネルギー化プロセスを導入し、原油換算で13,000kL/年の大幅な省エネルギーを実現したことが評価されました。

■ご参考

省エネ大賞「経済産業大臣賞」受賞の取組内容 : [http://jp.mitsuichem.com/release/2011/2011\\_0425.htm](http://jp.mitsuichem.com/release/2011/2011_0425.htm)

ENEX2012(主催:財)省エネルギーセンター) : <http://www.low-cf.jp/visitor/seminar01.html>

※1:省エネ大賞とは、企業・自治体・教育機関等における優れた省エネ活動や技術開発等による先進型省エネ製品等を表彰するもので、今回、工場・事業所における節電・省エネ活動において「先進性・独創性」、「省エネルギー性」「汎用性・波及性」「改善継続性」を評価する「省エネ事例部門」での最高賞を受賞しました。

※2: LNG冷熱:LNG(液化天然ガス)とは、気体である天然ガスを超低温(−160℃)に冷やすことによって液体にしたもの。LNGは、この超低温に由来する冷熱エネルギーを持っており、LNGが蒸発して天然ガスに戻る際に周囲から熱を奪い冷却する能力を冷熱と言います。